

2016年度（対象年度：2015） 自己点検・評価シート 【大学全体の視点】

基準4	教育内容・方法・成果
41	教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針

I. 自己点検・評価

1. 点検・評価項目等に基づく状況確認 《評定形式》

自己評価欄に「A：適切に実行している」「B：概ね実行している」「C：あまり実行していない」「D：実行していない」の4段階で記入してください。

項目No.	評価項目	点検項目	自己評価	
			個別	総合
411	【大学全体の視点】 教育理念・目的に基づき学位授与の方針を明示していますか。	【大学全体の視点】 ①教育理念・目的に対し、学位授与の方針と教育課程編成・実施の方針は整合していますか。	B	B
412	【大学全体の視点】 教育理念・目的に基づき教育課程編成・実施の方針を明示していますか。	○「教育理念・目的」⇔「学位授与の方針(DP)」⇔「教育課程編成・実施の方針(CP)」との整合性	B	B
413	【大学全体の視点】 学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針は構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されていますか。	【大学全体の視点】 ②明示媒体によって、記述に齟齬はありませんか。 ○履修要項とHP等の媒体間の記述の統一	A	B
		【大学全体の視点】 ③学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針は構成員（教職員および学生）に対し、周知し十分理解されていますか。【※どのように】 ○構成員への周知の方策と理解度の確認	B	
		【大学全体の視点】 ④社会に対し、公表していますか。【※どのように】	A	
414	【大学全体の視点】 学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針の適切性について定期的に検証を行っていますか。	【大学全体の視点】 ⑤学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針は検証しましたか。【※どのように】 ○教務委員会等における定期的な検証	A	A

2. 現状説明 《記述形式》

対象年度における取り組みを、点検・評価項目の観点から、改善状況を含め総括してわかりやすく説明してください。点検項目欄【※どのように】と記載のある項目は、取り組み内容を具体的に、記述してください。

411・412①これまで「教育にかかる基本方針」に基づき、各学部・研究科の教育理念・目的、学位授与の方針(DP)、教育課程編成・実施の方針(CP)を策定し明示していたが、「教育にかかる基本方針」は、5長期における時限的な方針であるため、これを見直し、2015年度第2回全学教学会議(2016.3.24)において、あらためて本学の教育理念・目的を策定した。このことに伴い、今後、本学の教育理念・目的と各学部の教育理念・目的、DP、CPとの整合性を見直す必要がある。現行の各学部のDPは、6つの観点(領域)を達成目標と向上目標に分類して定めており、教養教育の「学生に保証する基本的な資質」も包摂している。CPについてもDPと同様6つの観点(領域)別に分類して定めているが、教養教育のCPは6つに分類されておらず、DPとの整合性が取れていない。このようなことから、現在、学生にとって、教育理念・目的とDP、CPとの関係性、またDPとCPと

の関係性が分かりづらいものとなっている。今般、学校教育法施行規則の改正も踏まえ、本学の教育理念・目的と AP も含めた 3 つのポリシーとの整合性を図るとともに、3 つのポリシーを一体的に見直す必要がある。その上でカリキュラムマップや科目ナンバリングなどを用いて、学生に分かりやすく明示する必要がある。

413②各学部・研究科に対して、DP、CP を修正した場合は、教務会議・大学院運営委員会に報告するように依頼し、明示媒体間に齟齬が生じないように防止を図っており、2015 年度において齟齬は見受けられなかった。

413③各学部・研究科の教育理念・目的や DP、CP については、履修要項や HP に明示することで構成員に周知しており、このことに加え、教員には、主に教授会や研究科委員会を通じて、学生には、オリエンテーションや履修登録説明会を通じて説明し周知を図っている。しかし 2014 年度実施（2015 年度集計）の『学生に保証する基本的な資質』に関する意識調査の結果では、いずれの学部も 7～8 割の学生が知らなかったと回答しており、依然として認知度が低く、本学における学びの体系や構造、教育課程の目標などを十分に学生に理解させることができていない。

413④各学部・研究科の DP、CP については、主に大学 HP に掲載して、社会に公表している。

414⑤DP、CP の検証は、毎年度実施する自己点検・評価などを通じて、各学部・研究科が定期的に点検・検証を行っている。

[改善すべき点の確認] 前回の点検・評価で、自ら「改善すべき点」と掲げた事項や、評価結果で「改善すべき点（【改善勧告】【努力課題】【留意点】）」とされた事項があれば、この欄に箇条書きで記載してください。

(自ら「改善すべき点」と掲げた事項)

- ・各学部・研究科の「DP」・「CP」では、6 つの観点（領域）別に教養教育科目と専攻科目がどのように対応しているのか示されていない。また、各学部・研究科の「CP」は、個々の方針が、複数の観点（領域）にまたがって策定されているために「DP」との整合性が分かりづらいものとなっている。これらの課題に対して、今後、教務会議等を通じて改善方を検討する。また、個々の授業科目との関係性についても、カリキュラム・チェックリストなどを用いた検証方法などを検討する。
- ・2013 年度実施（2014 年度集計）の『DP』に関する達成度調査の結果では、「DP」「CP」に対する学生の認知度が依然として低いことから、各学部・研究科における説明方法等を確認の上、改善方を検討する。

(評価結果で「改善すべき点（【改善勧告】【努力課題】【留意点】）」とされた事項)

- ・依然、6 つの観点（領域）別における教養教育科目と専攻科目の対応や、DP、DP に定める「学生に保証する基本的な資質」と CP との整合性や各授業科目との関係性についての学生への明示方法は課題として残されている。DP、DP に定める「学生に保証する基本的な資質」と CP の学生への周知方法や、履修要項やシラバスの改善とともに、「実質化」と適切な「可視化」について継続して検討する必要がある。【努力課題】

3. 効果が上がっている点とその伸長方策 《箇条書き》

現状説明を踏まえ、効果が上がっている事項（特色ある取り組みや成果創出など）とその伸長方策を記述してください。

本学全体の教育理念・目的を策定した。それをもとに各学部・研究科が整合性のある教育理念・目的の見直しを行う土台ができた。

4. 改善すべき点とその改善方策 《箇条書き》

現状説明を踏まえ、改善すべき事項とその改善方策を記述してください。

- ・あらためて本学の教育理念・目的を策定したことに伴い、今後、本学の教育理念・目的と各学部の教育理念・目的、DP、CP との整合性を検証する必要がある。
- ・教養教育の CP は 6 つに分類されておらず、DP との整合性が取れるように見直す必要がある。
- ・学校教育法施行規則の改正も踏まえ、本学の教育理念・目的と AP も含めた 3 つのポリシーとの整合性を図るとともに、3 つのポリシーを一体的に見直す必要がある。
- ・DP、CP の関係性については、カリキュラムマップや科目ナンバリングなどを用いて、学生に分かりやすく明示するとともに、本学における学びの体系や構造、教育課程の目標に対する理解促進を図る必要がある。

5. 根拠資料 《リスト形式》

項目 No.	根拠資料の名称
411	2015 年度第 2 回全学教学会議議事録（案）
411	龍谷大学・龍谷大学短期大学部の教育理念・目的の策定について（提案）
411	「教育理念・目的」起草 WG における検討結果（報告）
411	龍谷大学の教育理念・目的（案）
411・412・413	龍谷大学学則第 2 条の 2
411・412・413	龍谷大学大学院学則第 3 条の 2
411・412・413	龍谷大学短期大学部学則第 4 条の 2
411・412・413	履修要項（電子データなし）
413	学生手帳（2015 年度）P.8～P.10（電子データなし）
413	出講手帳（2015 年度）P.3～P.4（電子データなし）
413	大学 HP（ http://www.ryukoku.ac.jp/about/philosophy.html ）（電子データなし）

II. 評価結果

総評	
<p>DP、DP に定める「学生に保証する基本的な資質」や CP の明示については、概ね適切に実行していると評価できる。</p> <p>本学の「教育理念・目的」と位置づけてきた「教育にかかる基本方針」の課題（5 長期における時限的な方針であった点）を改善し、2015 年度第 2 回全学教学会議（2016. 3. 24）において、あらためて本学の教育理念・目的と 3 つのポリシー策定の基本方針を策定した点も評価できる。</p> <p>このことによって、本学の教育理念・目的と各学部の教育理念・目的、DP、CP、AP との整合性を本格的に見直すことが可能となったと考えられるので、「三つの方針の策定及び運用に関するガイドライン」を踏まえた、3 つのポリシーの一体的策定を早急に進めていただきたい。</p> <p>なお、その際、継続的な課題であった学生等への明示・周知の方策についても具体的に検討していただきたい。</p>	
伸長すべき点（長所）	《箇条書き》
改善すべき点 《箇条書き》 *各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載	
<ul style="list-style-type: none"> ・本学の教育理念・目的と各学部の教育理念・目的、DP、CP、AP との整合性を本格的に見直すことが可能となったと考えられるので、「三つの方針の策定及び運用に関するガイドライン」を踏まえた、3 つのポリシーの一体的策定を早急に進めていただきたい。【努力課題】 ・3 つのポリシーの一体的策定にあわせて、継続的な課題であった学生等への明示・周知の方策についても具体的に検討していただきたい。【留意点】 	
※【改善勧告】【努力課題】は、改善計画書の提出が必要	

III. 全学的課題事項

2015 年度	<p>■評価項目 No.413</p> <p>依然、6 つの観点（領域）別における教養教育科目と専攻科目の対応や、DP、DP に定める「学生に保証する基本的な資質」と CP との整合性や各授業科目との関係性についての学生への明示方法は課題として残されている。DP、DP に定める「学生に保証する基本的な資質」と CP の学生への周知方法や、履修要項やシラバスの改善とともに、「実質化」と適切な「可視化」について継続して検討する必要がある。【努力課題】</p>
---------	---